

## 生活クラブ農園・あきる野とは？

### 生活クラブ農園事業の柱

\*組合員が農産物の生産に関わる直営農場（※<sup>1</sup> 市民参加型農園事業）と組合員が参加する※<sup>2</sup> 農業体験農園事業の2つを事業の柱とします。

※<sup>1</sup> 市民参加型農園事業…組合員が野菜の生産に計画的に参画し、生産した野菜は生活クラブのデポー・東京独自取組みおよび加工用農産物として販売します。

※<sup>2</sup> 農業体験農園事業…組合員が入園者となり、生産者から野菜栽培の指導を受けます。種・苗や必要な農具を用意する必要はなく、自分の区画の収穫物は全て持ち帰ることができます。

### 生活クラブの農園をつくる目的

\*市街化調整区域の休耕地を活用し、市民が農業体験と農業生産をおこなうことによって市民が農に触れ楽しみ、農産物の生産もおこない休耕地を市民がたがやすことによって都市における市民参加型の農地活用の実践をおこないます。

\*生活クラブ生協本体が事業主体（一般法人）となり、市民の農業参画、種子と農法、農業と生きものと環境の視点を盛り込んだ生活クラブ生協ならではの農園づくりをめざします。

### 生活クラブの農園をつくる理由

①生活クラブの農産物の取り組みの原点は「地場産」の野菜の取り組みでした。当時から東京を生産県ととらえ、都市農業の推進を目指してきました。しかし残念ながら、東京は宅地化が進み、農業は衰退を続けてきました。

②身近に生産の現場があり「食」を確保することは、防災という点や、地域の環境の維持、食育という観点からも重要なことだと考えます。都市農業の可能性は、消費者が身近にいることであり、市民参加型の農業をおこなうには優れた地域です。

③食と農の持続可能性を目指す生活クラブが「農園」をつくることで、組合員が積極的に都市農業に関わる場をつくることができます。